＋0.1×P）×β×0.207－α｝及び［｛（0.4×J＋0.1×K＋0.1×L＋0.1×M＋0.1×N＋0.1×O＋0.1×P）×β×0.207－α｝×1／3＋α］に小数点以下3位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。

算式の符号

J　次の算式Iによつて算定した数（当該数に小数点以下3位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、当該数が3を超える場合には3とし、1に満たないときは1とする。）

算式I

J＝1.77×（k－j）＋6.81

算式Iの符号

j　平成14年度から平成16年度までの各年度における人口増減率の合計数を3で除して得た数（小数点以下4位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）

k　平成26年から平成28年までの各年における人口増減率の合計数を3で除して得た数（小数点以下4位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）

K　次の算式Ⅱによつて算定した数（当該数に小数点以下3位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、当該数が3を超える場合には3とし、1に満たないときは1とする。）

算式Ⅱ

K＝1.87×（m－l）＋4.68

算式Ⅱの符号

l　平成18年から平成20年までの各年における転入者人口比率の合計数を3で除して得た数（小数点以下4位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）

m　平成26年から平成28年までの各年における転入者人口比率の合計数を3で除して得た数（小数点以下4位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）

L　次の算式Ⅲによつて算定した数（当該数に小数点以下3位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、当該数が3を超える場合には3とし、1に満たないときは1とする。）

算式Ⅲ

L＝－2.88×（o－n）－4.64

算式Ⅲの符号

n　平成18年から平成20年までの各年における転出者人口比率の合計数を3で除して得た数（小数点以下4位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）

し、（0.4×J＋0.1×K＋0.1×L＋0.1×M＋0.1×N＋0.1×O＋0.1×P）×0.103に小数点以下3位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。

算式の符号

J　次の算式Iによつて算定した数（当該数に小数点以下3位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、当該数が3を超える場合には3とし、1に満たないときは1とする。）

算式I

J＝1.79×（k－j）＋6.57

算式Iの符号

j　平成14年度から平成16年度までの各年度における人口増減率の合計数を3で除して得た数（小数点以下4位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）

k　平成25年から平成27年までの各年における人口増減率の合計数を3で除して得た数（小数点以下4位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）

K　次の算式Ⅱによつて算定した数（当該数に小数点以下3位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、当該数が3を超える場合には3とし、1に満たないときは1とする。）

算式Ⅱ

K＝1.87×（m－l）＋4.62

算式Ⅱの符号

l　平成18年から平成20年までの各年における転入者人口比率の合計数を3で除して得た数（小数点以下4位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）

m　平成25年から平成27年までの各年における転入者人口比率の合計数を3で除して得た数（小数点以下4位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）

L　次の算式Ⅲによつて算定した数（当該数に小数点以下3位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、当該数が3を超える場合には3とし、1に満たないときは1とする。）

算式Ⅲ

L＝－2.98×（o－n）－4.76

算式Ⅲの符号

n　平成18年から平成20年までの各年における転出者人口比率の合計数を3で除して得た数（小数点以下4位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）